

寺報

No.646

令和3年6月

蓮華寺
發行

御聖訓

日蓮にちれんがたましひをすみにそめながしてかきて候そつろぞ、信じさせ給たまへ
 仏ほとけの御心みこころは法華經ほけきょうなり。日蓮がたましひは南無妙法蓮華經にすぎたるはなし。

『經王御前御返事』



(解説)

「このご本尊は、私が魂を墨に染め流して書きしたためたものです。信じていきなさい。お釈迦様の本意は法華經であります。私が魂は南無妙法蓮華經に過ぎたるものはないのです。」

と日蓮大聖人は力説します。それだけ、この大曼荼羅ご本尊を命がけで我々に授けてくれたのです。

ですから、新興宗教の人達が「もし、あなたが何か欲しい物があったら、このご本尊に向って拝めば、必ず手に入るよ。」などといつて勧誘している姿が大聖人が見ましたら、さぞかしお嘆きになる事でしょう。

大聖人が教えます信仰とは、余りにもかけ離れているからです。

拜んで安易に物を得る事よりも、我々がいかにして生きていくべきかを教えたかったのです。

我々もこの人生の中で、家庭や仕事、また人間関係などで様々な苦しみを抱えていると思います。

しかし、その苦から逃げるのではなく、それをしっかり受け止めて、法華經お題目の信仰を以て乗り越えた時に、そこに本当の喜びが現れるのです。

檀信徒研修会のお知らせ 六月二十六日(土)

聖典の読誦と唱題行

担当・・・住職上人

*『聖典の読誦(三十分)と唱題行(三十五分)』

☆お題目は七百回以上唱えられます。

時間：午後七時より

場所：小本堂(イス席です)

持参品：聖典(事務所にて)・数珠

*月一度の修行ですので、どうか皆様もこの機会を逃さず、お経とお題目を大きな声を出して心から唱えましょう。

*ご自分の修行の為、懺悔滅罪(反省)の為、家族や友人の為、また仏様や先祖の供養の為、と各々の各自の目標に向い頑張つて修行して下さい。

最高の教え法華経

新型コロナウイルス

蓮華寺の感染防止対策!

まず、お寺では玄関入口にアルコール消毒液を設置し、手指の消毒をお願いしています。

次に、事務所に自動の体温測定器を設置していますので、体温の測定もお願いしています。

また、朝のお勤めに始まり各行事の際も、イスの間隔を広げソーシャルディスタンスを確保していますのでご安心下さい。

更に、参拝者が多く集まる時の『大本堂』に、皆様にご相談に来ます『霊断室』、そして『事務所』には、ウイルスの除菌また脱臭も出来る【光触媒除菌脱臭機】を何台か設置しています。

後は、適宜に換気や消毒を行っています。

以上、完璧とはいえませんが対策を行っていますが、まだ感染を防ぐ為にはマスクの着用が必要ですので、よろしく、ご協力下さい。

速く感染が落ち着いて、以前のように参拝出来る事を望みます。

『護持会総会』 中止のお知らせ

例年五月に開催されていましたが、蓮華寺護持会役員(評議員)によります総会が、昨年引き続き新型コロナウイルス感染拡大を考慮しまして中止と致しました。よって、令和二年度の収支決算と令和三年度の収支予算は、去る四月十四日に開かれました常任評議員役員の会の決議を以て決定させて頂きました事をご報告致します。

なお決議されました報告書は、お寺の玄関入口に「護持会からのお知らせ(令和三年度版)」と共に置いてありますのでお持ちになりご覧下さい。

また昨年度も、皆様のご尽力によりまして、三月現在の正確な会員数は【四、七二五】名となりました。誠に有り難うございました。

しかし、まだ昨年度の会費が未納の方もたくさんありますので、今後とも皆様に会費の納入にご協力戴きたいと思えます。

また、中には檀家であっても護持会には絶対加盟しな

いとという方もいるようですが、是非ご理解戴きご協力をよろしくお願い致します。

なぜなら、皆様が納めました会費は、菩提寺の蓮華寺の維持だけに止どまらず、広く日蓮宗々門の発展の為にも有効に使われているからです。

どうか檀信徒の皆様も、この点をお踏まえになりまして、今後とも護持会へのご支援を重ねてお願い致します。

護持会費

年額六、〇〇〇円【月五〇〇円】

(注)特別ご協力戴けます方には、上限はありません。

※お寺からのお願い

お葬式・ご法事・ご祈祷・霊断等のお申込みは、必ずお寺と打ち合わせの上、日時を決めて下さい。

また、住所変更やお引越しの場合もお寺にご連絡下さいますようお願い致します。



護持会 『常任評議員』の紹介

- 【会長】山本 基
- 【副会長】山谷 清文・渡邊 文教
- 【監事】阿保 廣志・小野 豊秀・渡邊 栄
- 【理事】渡邊 學・佐藤 忠義・山田 兼輔
- 山本 治男・小野 正春・杉淵 昌三
- 奈良 重徳・古谷 徹・安田 武勝
- 小枝 金治・渡邊 清光・石郷岡総一郎
- 【会計】川越 大

お坊さんの紹介

今年度は、住職以下六名の僧侶で頑張つていきますのでどうか皆様のご協力をよろしくお願い致します。



- 【住職】角田 堯淳 【役僧】對馬 章文
- 【執事】加藤 篤宏 埜 堯尊
- 【顧問】角田 堯專 角田 堯悠

蓮華寺事務員の紹介

- 【事務長】齊藤 豊
- 【事務員】川越 大・川越美由紀・五十嵐宣人

『靈断』の勧め！

檀信徒の皆様で、日頃から何かお困り事や悩み事がありましたら、迷わず蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法「九識靈断法」にて、当山僧侶が解決、ご指導致します。なお秘密厳守、また宗旨宗派は問いませんので、お気軽にご相談の上ご相談下さい。

【ご相談料は、原則として一件につき三千元です】

『提灯』の募集！

当山で「鬼子母神大祭」「御会式」「お正月」の際に境内に掲揚します『ちょうちん』（トウロウ）を募集しています。作成価格は八千円で、年間の管理費が二千円となりますので、初年度のみ一万円となります。

畳のへりは踏まない！

現代では畳の部屋が減りつつありますが、昔から『畳のへり』を踏んではいけないといわれているのは何故でしょうか。

これには説が二通りあります。一つは武家のたしなみを説く『武家礼法』に教えられていたといわれます。

武士はいつ敵から命をねらわれるか分かりません。もし畳のへりを歩いたりしていると、床下にひそんでいる敵に、畳と畳のすき間から刀を突き上げてくるかも知れません。

だから畳のへりを踏んでいては危険なのだという教えです。

もう一つの説は、自分の境界を大切にしようとした儀礼ではないかというものです。

畳の歴史は古く、奈良時代にはもう使われていたようですが、ただその頃の畳はいわゆる「ウスベリ」といわれるものであつて、ある時は敷いて座り、またある時はその上で寝てみたり、また使わない時はたたんで

部屋のすみに重ねて置いたそうです。

そこから「たたむ」が変じて「たたみ」になったといわれています。

つまり、【たたみ一畳】が人ひとりの生活空間だったのです。

その後、平安時代を経まして室町時代になりますと、建築用法が変わり書院造りが生まれました。

そうなりますと、畳は厚くなり、たたむ事なく床に敷きつめるようになり、その部屋を座敷と呼ぶようになりました。

しかし、環境が変わりまして、【たたみ一畳】が人ひとりの生活空間である習慣には変化がありませんでした。

結局、畳のへりは当時の人にとっては、大事な最小空間の境界であつたという事なのです。

こう見ますと、大事な自分の所に他の人が侵入する事を防ぐ為に、そのへりを踏んではいけないといったのかも知れません。

どちらの説も一理あると思われれます。

『蓮華寺外塀』の工事始まる

当山の東側の外塀が老朽化し、耐震構造にも危険な場所が多々ある為に、今般六月一杯を掛けまして新規工事をする事になりました。皆様に多少ご迷惑はかかると思いますが、ご協力をお願い致します。



『聖徒団会員』募集！

毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。その他、大本堂御寶前のお花、皆様にお配りする新聞『聖徒タイムズ』・寺報等の援助などに活用します。会費・年間二、四〇〇円(月二百円) 事務所までお申込み下さい。

『靈神符』を持ちましょう！

皆様も「私だけは大丈夫」などというお考えはお止めになり、どうか素直に毎月の靈神符を肌身離さずお持ちになり、心身共に守ってもらって下さい。

『位牌壇』の募集！

◎お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り守り続けられていきます。

◎仏様の御命日に当る日に、諸用や旅行などで不在の時でも、ご予約戴ければ『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またご依頼があればお経も唱えさせて戴きます。

◎特に、青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので『位牌壇』がありますと、常にお寺にお参りが出来ます。

◎最近の仕事などの関係から、家族が地元に住めずに仏壇を維持出来ない為、『位牌壇』に位牌を預かり青森に帰省した時にお参りをする方達も増えてきていますが、それでも構いません。

◎現在空いています上位の位牌壇に上がりたい方には数がある限り無料でお譲り致します。ですから三席から特席にも無料で上がれます。

詳細は事務所まで！

六月の行事

一日(火)盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【靈神符】の交換の日です。
- ・ 必ずお勤めに参拝し、お題目とお経を唱え、感謝の気持ちを込めてお守りを交換しましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。



十三日(日)日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
- 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
- ・ どなた様も、大聖人への御報恩を忘れずに参拝しお題目とお経を唱えましょう。

二十四日(木)妙見小祭 朝のお勤め中

二十六日(土)檀信徒研修会【唱題行】午後七時より

☆奉仕のお知らせ

三十日(水)『鬼子母神大祭』の準備

・ 教宣部男女 午前九時より

※大本堂の玄関幕、祭壇、ノボリ、ちょうちん等の掲揚

※『鬼子母神大祭』は大行事ですので、部員の方は必ず、また部員以外の方でも是非ともご奉仕をよろしくお願い致します。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春
教宣部長・杉淵昌三

『十三日のお勤め』

に参拝しましょう

毎月午後一時より

- ◎十三日は、日蓮大聖人の大切な月ご命日の日です。
- ◎「十三日のお勤め」のお経練習用に【CD・カセットテープ・お経本】を事務所にて販売しています。

鬼子母神大祭

七月三日(土)

午後六時半より



法 話：日蓮宗青森県青年会々長
野 内 妙覚寺住職

工藤泰輝上人

* 鬼子母神は家内安全・諸願成就を叶え、また子供の発育を育む大切な善神です。

* 檀信徒の皆さん、小さなお子さん、お孫さんをお持ちの方、また出産予定の方も必ずご参拝下さい。

- 一 般 御祈願・・・千 円 (読み上げ・お札)
- 特 別 御祈願・・・二千元 (読み上げ・木札)
- 一 般 御法楽・・・千 円 (読み上げ・お札)
- 鬼子母神御神体・掛け軸の御法楽・・・二千元 (読み上げ・お札)

②ご参拝は自己管理のもと、マスク着用でお願いします。